

YAAA

山形県広告業協会 YAAA通信

2005年12月発行

vol.11

- | | | | | |
|-------------|----------------------|------------------|-----------------|-------------------|
| (株)アイン企画 | (株)アドコーポレーション | (株)アドバタイジング・エフ | (有)アド・プランニング越前屋 | (株)イベントプロデュース ガッツ |
| (株)ウイングエイト | (株)エス・アイ・エスコミュニケーション | (有)キンダイ通信社 | (株)庄交コーポレーション | (株)青陵社 |
| (株)日本プレス広告社 | (株)ハイスタッフ | (株)東日本朝日広告社 山形支店 | (株)北宣 | (株)ホロン山形支社 |
| (株)山形アドビューロ | (株)山新広告社 | (有)和広エージェンシー | | |



放送開始式で、地上デジタル放送を大型スクリーンで紹介するスイッチを押す3局（山形放送、NHK山形放送局、テレビユー山形）の代表者。写真提供＝山形新聞社

「チエンジ、デジテレビが変わった！」
 12月1日より山形県内で地上デジタルテレビ放送が始まりました。放送を開始した局は、NHK山形放送局・YBC山形放送・TUYテレビユー山形です。同日は、三局が山形市の山形グラントホテルで記念式典を行い、共同で特別番組を制作生中継しました。

12月1日時点での放送エリアは山形市など村山地区を中心に16万5千世帯、県内カバー率は43.8パーセントです。また、YTS山形テレビ・SA Yさくらんぼテレビは、平成18年6月に本放送を開始する予定です。平成18年12月には、酒田・鶴岡地区、新庄・最上地区、米沢・南陽地区、小国地区で開始し、エリア世帯数は35万9千世帯、県内カバー率は95.2パーセントとなります。

地上デジタル放送がスタート!

高画質・高音質・ワンセグなど高まる期待
 最大の魅力は、アナログ放送に比べ5倍以上きめ細かい、HDTV（高精細度テレビジョン）による高画質の映像。しかもゴースト（二重写り）のないクリアな16対9のワイド画面です。音質はCDレベルの高音質放送のほか、臨場感あふれる5.1chサラウンド、2カ国語放送でそれぞれの音声ともステレオ音声になるデュアルステレオが可能。データ放送はテレビを見ながら最新ニュースや気象情報などを確認できます。また、EPG（電子番組ガイド）はテレビ画面上で新聞のテレビ欄のような番組表を見ることができ機能です。さらに、「ワンセグ（1セグ放送）」や、多チャンネル放送も可能です。このように様々な特徴をもつ地上デジタル放送は、暮らしに役立つ、地域に密着した放送です。

視聴率やCM・番組制作と権利保護
 広告業界として気になるのは、視聴率。地上デジタル放送を視聴している場合も、地上アナログ放送の場合と全く同様に視聴率カウントされます。視聴率は局別合計視聴率としてデジタルとアナログの合算になります。

CMや番組制作は、これまでのアナログ制作から新たな16対9の画面のHD（高精細）制作への対応が必要です。また、デジタルコンテンツは「コピーを繰り返しても画質が劣化しない」特徴があり著作権を侵害される懸念があります。このため「コピーワンス（1回だけコピーOK）」というコピー制御信号とスクランブルという2つの技術方式を使ってコンテンツの権利保護が図られています。



委員会レポート（企画委員会）YAAAセミナー「地上デジタル放送を迎えて」
 8月26日（金）最大関心事である地上デジタル放送の現状と今後の展開や課題について、山形放送専務の國部裕氏を講師に招きご講演いただきました。会場のビッグウイング会議室には会員や賛助会員の方々と、そして広告主の皆さまにも参加いただきました。ご講演は、同放送は国策として実施するもので、ユビキタス社会実現の大きな柱になることや、デジタル化のメリットなどを分かりやすく説明いただきました。



東北ブロック会議 盛岡大会
 11月11日（金）盛岡市で全広連連「東北ブロック会議」が開催され、山形からは西長会長を始め理事、監事、会員を含む七名が参加いたしました。冒頭、各県代表から広告事情の報告があり、当県は森山理事が「依然として厳しい広告環境だが、来年度は当協会設立十周年の節目を迎えることもあり、一層の飛躍を期したい」と報告を行いました。「検証東北における地上デジタル放送と広告」と題する基調講演や大会記念講演の後、各地域の会員社や岩手県の媒体社との懇親会に移り、地元さんさ踊りが興趣を盛り上げる中、大いに親交を深めました。

YAAA協会加盟社

- | | |
|---|---|
| 株式会社 アイン企画
代表取締役 松岡 宏和
〒990-0042 山形市七日町3-4-9
TEL023-642-4542 | 株式会社 青陵社
代表取締役 佐竹 純一
〒990-2442 山形市南二番町14-40
TEL023-624-0611 |
| 株式会社 アドコーポレーション
代表取締役 渡邊 信行
〒990-0043 山形市本町1-4-27（ジラルタ生命ビル9F）
TEL023-624-6621 | 株式会社 日本プレス広告社
代表取締役 中川 良一
〒990-2462 山形市深町2-3-33
TEL023-643-2292 |
| 株式会社 アドバタイジング・エフ
代表取締役 沼沢 善右衛門
〒990-0042 山形市七日町1-2-42（TAN6スクエア3F）
TEL023-625-8355 | 株式会社 ハイスタッフ
代表取締役 高橋 雅宣
〒990-2422 山形市中根田1-7-23
TEL023-632-6030 |
| 有限会社 アド・プランニング越前屋
代表取締役 越前屋 忍
〒990-0832 山形市城西町3-18-16
TEL023-647-5518 | 株式会社 東日本朝日広告社 山形支店
支店長 飛田 光弥
〒990-0054 山形市六日町7-10（朝日新聞ビル3F）
TEL023-631-5233 |
| 株式会社 イベントプロデュース ガッツ
代表取締役 漆山 芳弘
〒990-0023 山形市松波1-7-1
TEL023-635-0576 | 株式会社 北宣
代表取締役 武田 寿美男
〒990-2423 山形市東青田2-13-3
TEL023-631-1252 |
| 株式会社 ウイングエイト
代表取締役 水戸部 廣一
〒990-0821 山形市北町1-3-1
TEL023-612-0456 | 株式会社 ホロン 山形支社
代表取締役 鈴木 英文
〒990-2323 山形市板敷2-11-16（ロイヤル板敷2F）
TEL023-624-3110 |
| 株式会社 エス・アイ・エスコミュニケーションズ
代表取締役 原口 巖
〒998-0102 酒田市京田2-59-4-2
TEL0234-41-0050 | 株式会社 山形アドビューロ
代表取締役 西長 幹夫
〒990-0042 山形市七日町4-16-18
TEL023-641-2160 |
| 株式会社 キンダイ通信社
代表取締役 村山 光男
〒994-0012 天童市久野本2-3-13
TEL023-654-1533 | 株式会社 山新広告社
代表取締役 相馬 健一
〒990-0047 山形市旅籠町2-5-12
TEL023-635-5590 |
| 株式会社 庄交コーポレーション
代表取締役 真嶋 経一郎
〒997-0031 鶴岡市錦町2-60（庄交本社ビル2F）
TEL0235-22-3777 | 有限会社 和広エージェンシー
代表取締役 大竹 裕
〒990-0025 山形市あこや町2-1-31（有川ビル3F）
TEL023-626-3330 |

YAAA賛助会員

- | | |
|---|---|
| 株式会社 山形新聞社
代表取締役 黒澤 洋介
〒990-8550 山形市旅籠町2-5-12
TEL023-622-5271 | 株式会社 ケーブルテレビ山形
代表取締役 中村 松太郎
〒990-0025 山形市あこや町1-2-4
TEL023-624-5000 |
| 山形放送 株式会社
代表取締役 佐藤 充彦
〒990-8555 山形市旅籠町2-5-12
TEL023-622-6161 | 山形コミュニティ放送 株式会社
代表取締役 玉井 恒
〒990-0043 山形市本町2-4-14（津多屋ビル）
TEL023-634-0762 |
| 株式会社 山形テレビ
代表取締役 岡 正和
〒990-8511 山形市城西町5-4-1
TEL023-645-1211 | やまがたシティエフエム 株式会社
代表取締役 青柳 等
〒990-2422 山形市中根田3-1-11
TEL023-625-0788 |
| 株式会社 テレビユー山形
代表取締役 西村 陸
〒990-9536 山形市白山1-11-33
TEL023-624-8111 | 株式会社 ニューメディア
代表取締役 金子 剛三
〒992-0044 米沢市春日4-2-75
TEL0238-24-2525 |
| 株式会社 さくらんぼテレビジョン
代表取締役 山本 惣一
〒990-8539 山形市落合町85
TEL023-635-2111 | 株式会社 荘内日報社
代表取締役 橋本 政之
〒997-0035 鶴岡市馬場町8-29
TEL0235-22-1480 |
| 株式会社 エフエム山形
代表取締役 長谷部 滋
〒990-9543 山形市松山3-14-69
TEL023-625-0804 | |

決意・熱意 創業時を語る



株式会社 キンダイ通信社
代表取締役 村山 光男

広告を取扱う仕事がしたいと夢を抱いたものの扱う媒体がない。それなら自分で媒体を作ればよいと昭和52年11月（1977年）にフリーペーパー、月刊紙サテナー情報と地元の天童で発行したのが創業の始まりです。発行はしたものの

知名度ゼロの媒体に広告を出稿してくれるスポンサーは飲食店が主流で硬派系の企業からは全く相手にされず苦労の連続でありました。チラシやパンフレットの企画制作を受注することで収益バランスをとりながら事業を継続することができたようなものです。テレビやラジオの媒体営業もできる広告代理店はいつ認められる時が来るだろうかと待ちわびたものです。平成元年1月に山形県内第3局目のテレビユー山形と代理店契約を結ぶことができたことで仕事の輪が広がりました。このときが、広告屋から「アドバタイジングエージェンシー」に姿を変えた歴史的な年だっただと覚えています。今では県内の全局が代理店開放されておりますが地元新聞も含めた全媒体がフルオープンになった時が真の県内広告業界の発展に寄与できるものと思っております。



株式会社 庄交コーポレーション
代表取締役 真嶋 経一郎

庄交アド・エージェンシーが誕生したのは、昭和63年2月で、庄内交通グループの一員として関連各社のハウスエージェンシーの業務を主軸として、創造、奉仕、学習を经营理念に総合広告代理店として歩んできました。その後、経営環境の大きな変化の中で、

グループ各社の収益力の強化や財務体質の健全化を目的に、平成15年7月に、庄内交通のバス、タクシーの会社以外の、東京第一ホテル鶴岡や庄内観光物産館、庄交トラベル等11の会社が統合して、株式会社庄交コーポレーションが発足し、企画部「庄交アド・エージェンシー」として、新たな出発をしております。当社は、生活インフラ、観光インフラをになう多くの事業部から構成されていることから、消費者つまりお客様との接点が多く、「庄交アド・エージェンシー」としては、地域と消費者とを結び良好なコミュニケーションを達成するために、マス媒体、ポスター、チラシ、DM、などの印刷物や屋外広告、交通広告、企業の文化イベントなどを通じ、地域の活性化や企業の振興に少しでもお役に立てるよう今後とも努力してまいります。お客様の個性や独自性を大切に、ニーズに合わせた提案を心がけてまいりますし、これからも多様に広がっていく顧客の夢の現実に向けて、広告の使命を認識し、想像力や言葉の表現を勉強し続ける好奇心に満ちた集団でありたいと考えております。



株式会社 青陵社
代表取締役 佐竹 純一

11年前の平成6年2月4日、42歳の厄年が明けた日に株式会社青陵社は誕生致しました。少し遅い独立という事もあって、思い切った最初から数名のスタッフを抱え、事務所もそれなりに広い、少々立派過ぎる所に構えました。その無茶をしたお陰で

で苦勞して集めた資本金があつという間に底を突き窮地に陥ってしまいました。それからというもの、自分の甘さに気づき、気持ちをを入れ替え必死で働きました。それでも設立して3年間位はいつ潰れてもおかしくない状態が続きました。でも持ち前の粘り強さ？で少しずつ少しずつ、自分に言い聞かせ低迷からの脱出を図って行きました。そうこうするうちに、現在当社の看板商品である求人紙「ライン」が段々と大きくなり、業績アップに大いに貢献してくれました。また自治体からのイベント等も少しずつ受注できるようになり、漸く明かりが見えてきたと実感したものです。その後会社の業績も徐々に安定するようになり、今又新事業にチャレンジできる機会を与えられて新たな闘志を燃やしています。皆さん～油断は禁物ですよ。

デジタル時代に
むけて

放送業界の大変革。民放4社・NHK、そしてCATVの対応と展望

ケーブルテレビ山形

●我社の取り組みについて

平成17年12月、山形県においても地上デジタル放送が開始されました。デジタル放送は通信と放送の融合を一層促進する事となり、今までのテレビ放送の概念を根底から覆すものとなります。

ケーブルテレビの特性は電波を一方的に送出するのではなく、各家庭とケーブル線で直接結ぶ事によりお互いの情報をやり取りできる双方向機能を有する事にあります。EPGやデータ放送のみならず、テレビを視聴しながらインターネットの検索やメールの送信・テレビショッピング・地域商店街と連動したポータルサイトでのデリバリー注文などが簡単にリモコン操作で可能となります。

当社も地上波デジタル放送開始と共にアナログ放送とデジタル放送のサイマル放送を開始しており、IT化が一層進展する中でケーブルテレビの特性を生かした新しいサービスの展開や地域情報の充実に取り組んで参りたいと考えております。



CATVの展開や地域情報の充実に取り組んで参りたいと考えております。

NHK

●地デジの魅力、それは高画質とデータ放送

NHKの地上デジタル放送の魅力は、高画質と生活に役立つ多様なデータ放送。2006年末には県内の95.2%でNHKの地デジをご覧いただけます。

地域情報番組「やまがたナビゲーション」などのローカル番組もハイビジョンによる高画質・高音質放送はもちろんのこと、データ放送も生活に役立つ情報が満載です。最新のニュース・気象情報、「いざ」という時に役立つ「避難所・休日夜間診療所情報」、多様な「市町村イベント情報」、さらに「やまナビ」で好評いただいている「創ります 郷土の味」のレシピも、夕方の食卓に間に合うようお届けします。

また、平成18年のJリーグ開幕時には「モンテディオ山形」の情報を、そして来年4月には、携帯電話型受信機などの移動体でも受信ができる「ワンセグ」サービスがスタートします。進化し続ける地上デジタル放送にご期待ください。



地上デジタル放送にご期待ください。

SAY

●我社の取り組みについて

SAYでは2006年6月から村山地方を中心にデジタル放送を開始しますが、システム面の取り組みとしては、FNS系列全局が参加して「営放システム」を標準化して作り上げ、運用していくことが挙げられます。またハード面ではデジタル放送設備の標準化に系列全局が参加して共通化を図り、コストダウンに挑戦しました。今後、諸々のシステムテスト・運用訓練などを経て、来年6月からはデジタル特有のサービスを視聴者の方々に届けていきます。なお、デジタル放送開始後は県内のデジタル放送ネットワークの構築、制作系放送設備のデジタル化が続く予定になっています。

●開局までの広報やキャンペーンについて

2006年6月の本放送に向けて、スポットキャンペーン・自社ホームページ・自社広報紙「SAY HELLO!」、「SAY PRESS」などで広報展開をしていく予定です。



← SAYランドの仲間たち
ネオドッグのハート

TUY

●我社の取り組みについて

当社のデジタル放送への取組みは2002年12月に12名のデジタル委員会が設置され第一歩を踏みました。その委員会により各デジタル放送機器メーカーが順次決まり順調に進んで行く中で、急遽デジタル放送開始時期が6ヶ月早まって2005年12月に変更されました。当社は平成元年に県内3番目の民放局として開局、その時から少数精鋭・コンパクト放送局を目指していました。このデジタル放送化は現状アナログ放送を出しながらの準備作業となり、当社規模のローカル局は大きな危険を伴う大事業となり、さらに開始が早まることはより負荷がかかることにもなります。その懸念をよそに、社員一人々が結果・努力で仕様検討・運用見直し・テスト等を繰返しながら12月1日高画質・高音質・データ放送・EPG等のデジタル本放送を開始出来ました。

●CM素材の注意点や留意すべきこと

CM素材に関してはHD素材の活用により美しい映像・音質が提供できると思います。引き続き、スポンサーコード及びCMコードの調整もご協力お願いいたします。



YTS

●我社の取り組みについて

山形テレビは平成18年6月1日から地上デジタル放送を開始します。デジタルマスターやシステムの運用テスト、作業習熟等に取り組み、米春のマスター切り替えと本放送へ万全の準備を進めています。高画質・高音質はもちろん、地デジはより「地域密着」が求められます。データ放送は番組情報に加え、地域の最新ニュースと天気情報がいずれも取り出せます。携帯・移動体向けのワンセグサービスも、6月の本放送と同時にスタートします。さらに、最上川の四季をHD撮影したデジタルコンテンツ「最上川」の番組制作を進め、HD化へ対応していきます。

●開局までの広報やキャンペーンについて

本放送まであと半年、YTSでは地域と暮らしに密着した地上デジタル放送の普及へさらにPRを展開していきます。また媒体として何が出来るのか、データ放送、ワンセグサービスが提供できる新たな展開を探っています。



YBC

●我社の取り組みについて

YBCは今年12月1日に本放送を開始しました。現在視聴できるのは、「西蔵王送信所」サービスエリアの16万5000世帯の視聴者ですが、このあと放送エリアを順次広げ、2006年12月には庄内、新庄、置賜、小国地区でもご覧いただけるよう計画しています。その時点での視聴可能世帯は95.2%となります。デジタル放送の最大の魅力といえる「ハイビジョン放送」番組は65%に達しています。(深夜帯をのぞく) YBCのスタジオ制作番組はすべてハイビジョン放送です。また、デジタル放送対応のテレビ中継車を配備しており、スポーツ中継などで迫力ある映像をお届けしていきます。もうひとつの目玉である「携帯端末向け放送(1セグ放送)」にも積極的に取組み、2006年4月からの放送開始を目指して準備を進めています。

●CM素材制作、搬入の注意点

CM素材は、SDが「D-2」または「デジタルベータカム」、HDは「HDCAM」か「HDCAM-SR」のいずれか1種1本で搬入してください。SD素材をデジタル放送する時はサイドパネルが付き、HD素材をアナログ放送する場合はレターボックスが付き、音声は「モノラル」「ステレオ」[5.1ch]のいずれかで、「モノラル」の場合は、同じ音声を1と2両chに入れてください。



YAAA 事務局からのお知らせ

現在YAAA加盟社は17社ですが、このたび40アド・プランニング越前屋様が新しく入会いたしました。来年度は創立10周年を迎えることもあり、一層充実した活動を心がけてまいりますので、1社でも多くの方々に参加いただけるよう願っております。入会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

山形県広告業協会事務局(山形アドビルド内)
事務局長 石山俊光 TEL023-641-2160

携帯と連携するワンセグ

平成17年4月、「ワンセグ」がスタートします。「ワンセグ」とは、地上デジタル放送ならではのサービスとして注目を集めている携帯端末向けの1セグメント・サービスのことで、今後の普及のため呼び方を「ワンセグ」と統一して呼ぶことになっています。ワンセグは地上デジタル放送の6メガヘルツ帯域を、13のセグメントに分けて送る日本独自の放送方式によって実現したサービスで、1セグメントだけで映像・音声・データを送ることができ、移動中でも安定した受信が可能な方式です。ワンセグの番組は家庭用固定テレビ受信機向けと同じ番組が放送され、家庭だけでなく外出移動中など、いつでもどこでも無料でテレビを楽しむことができます。また、携帯電話の通信機能と連携することにより双方向サービスが可能となり、見るテレビから使うテレビへ、テレビが大きく変わります。

地上デジタル放送のサービスエリア

12月1日放送を開始した西蔵王デジタル送信所からのサービスエリアは山形県、天童市、上山市、寒河江市、村山市、東根市、尾花沢市とその周辺町村の16万5千世帯(全県世帯数の43.8%)をカバーしています。

今後放送エリアが順次拡大され、2006年12月末までに鶴岡市、酒田市、新庄市、米沢市、南陽市、小国町とその周辺町村を含め、35万9千世帯(全県世帯数の95.2%)となります。その他の地域は順次中継局を建設し、2010年末までに現在のアナログ放送と同じエリアをカバーする予定です。

デジタル電波にはアナログにない特有の性質があり、受信画質はテレビ受信機側がデジタル信号として再生できれば、遠隔地でも劣化しない鮮明な画像で受信できます。即ち、画質のエリア内均一化です。デジタル電波は周辺の山からの反射や、山岳回折波を受信して例外的に受信可能となる場合があります。新庄市、米沢市、西川町、朝日町の一部視聴者や電気店から受信報告がありました。これらの事例は公式エリア世帯数には含まれません。

2005年	2006年
16万5千世帯 全体の43.8%	35万9千世帯 全体の95.2%

いつも主役は庄内と庄内人!

山形県新聞 山形県版

支社/鶴岡市馬場町
支社/酒田市番町
支社/尾花沢市番町
支社/新庄市番町
支社/米沢市番町
支社/上山市番町
支社/寒河江市番町
支社/村山市番町
支社/尾花沢市番町

http://www.shonai-nippo.co.jp/

NOW ON AIR!

Something new. Always new.VigoFM.

vigo FM 78.8 MHz

やまがたシティエフエム株式会社 TEL 023-625-0788
http://www.vigofm.co.jp

RADIO FM 76.2 MHz

MONSTER

ラジオモンスター

山形コミュニティ放送株式会社
〒990-0043 山形市本町二丁目4番14号(津多屋ビル)
TEL.023(634)0762 FAX.023(633)7622
HPアドレス http://www.fm762.co.jp
e-mail: fm762@eos.ocn.ne.jp

東北地域の情報配信

TCN

東北ケーブルテレビネットワーク(TCN)
＜東北のケーブルテレビ13局加盟(八戸・秋田・岩手・花巻・北上・釜石・水沢・気仙沼・一関・塩釜・仙台(2局)・山形)＞

ケーブルテレビは戦略にあわせ、特定エリアでのCMが可能。ムダ打ちがなく、しかも驚くほど低コスト。東北地域以外の関東や関西など、他の地域にも配信可能。

山形市あこや町1-2-4 TEL 023-624-5000
E-mail koukoku@ma.catv.ne.jp
URL http://www.catv.ne.jp